



2017年6月15日

京都府

メルセデス・ベンツ日本株式会社

## 京都府とメルセデス・ベンツ日本が「地域活性化連携協定」を締結

京都府（知事：山田 啓二）とメルセデス・ベンツ日本株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長 兼 CEO：上野 金太郎、以下「MBJ」）は、双方が有する資源を有効に活用した協働による活動に取り組むことで、京都府域内の活性化を進めることを目指し、本日、「地域活性化連携協定」を締結いたします。

### ■連携協定締結の目的

京都府には、世界的に有名な古都京都に加え、茶畑が広がる府南部地域の「お茶の京都」、里山の風景を残す中部の「森の京都」、美しい海の景観が楽しめる北部の「海の京都」といった多様な魅力に溢れる地域が多くあります。2014年より京都府が展開している「もうひとつの京都」プロジェクトは、このような地域資源を掘り起こし、自然や歴史、人の営みといった地域の魅力を全国に伝えるための取組みです。

MBJも昨年よりこの活動に参画しており、PR車両の提供やラジオ番組の協賛などを実施してまいりました。また、こうした経緯からMBJの親会社であるダイムラー社が2013年に開始した「smart city project」の日本における展開を京都府で行うことが決定し、今年度はスマート専売拠点の開設を通じて、スマートブランドの認知向上を図る活動を京都府にて行ってまいります。

京都府とMBJは、「地域活性化連携協定」を締結し、京都府域の活性化に向けて、双方が有する資源を有効に活用し、観光の振興や、伝統産業をはじめとする京都府産商品の発信などの様々な活動を連携して取り組んでまいります。

## ■連携協定の概要

### (1) 観光振興及び観光情報の発信に関すること

- ・ 京都府の観光情報の発信
  - MBJ の SNS やオーナー向けマガジン、メルセデス・ベンツ コネクションなどでの京都府の観光情報の発信
- ・ 「もうひとつの京都」をはじめとする京都府の魅力の発信
  - 「もうひとつの京都」などの府内の観光・地域振興イベント等の情報発信

### (2) 伝統産業をはじめとする京都府産の商品などの発信に関すること

- ・ 京都府の伝統産業の魅力発信
  - 府内の伝統産業の魅力を発信するイベントや商品販売などの協力

### (3) 地域の活性化に関すること

- ・ 関西文化学術研究都市でのスマートシティの取組みとの連携
  - 関西文化学術研究都市でのカーシェアリング等を通じた環境負荷軽減や新たな地域モビリティに向けた取組みの検討
- ・ 「もうひとつの京都」の取組みとの連携
  - 地域への周遊展開に向けたカーシェアリングやルート案内などの実施

### 【メルセデス・ベンツ日本株式会社について】

メルセデス・ベンツ日本株式会社は、ドイツの自動車メーカー ダイムラー社の乗用車を扱う100%子会社の日本法人です。メルセデス・ベンツが自動車を発明してから100年目となる1986年に設立し、全国に広がる217拠点の正規販売店を通して日本のお客様に最高の製品とサービスをお届けしています。

### 【smart city project について】

メルセデスの最先端技術を投入したシティ・コンパクトモデル「smart」の魅力を訴求する活動です。現在は「smart city」として選定した世界41（※）の都市で展開しており、各都市の文化や風土に合ったユニークな活動を通じて、スマートブランドの認知向上を図っています。

（※） 京都を含まない（京都を含め42都市）